



お元気ですか

第66号

新・病院理念 西伊豆病院は、地域の活力と皆様の安心のために、
職員一丸となって、持てる技術と情熱を注ぎます。



『移動知事室』が当院で開設されました！



▼ 掲載内容 ▼



P2 『移動知事室』が
当院で開設されました！



P2 嘔吐物処理方法の実演講習！



P3 高齢者救急セミナー
講師 岩田充永先生



P4 肺ドックのご案内



P5 入院について 木島医師



P6 簡単レシピ・イベント食



P7 高額療養費制度が 変わりました

『移動知事室』が 当院で開設されました！



川勝知事が来院されて仲田院長、吉田英人医師、佐藤由紀医師と意見交換を実施しました。

意見交換会のテーマは「へき地でありながら最先端の知識を学ぶことにより、若手医師を集めることができる研修体制」と題し活発な意見交換がなされました。

仲田院長からは当院の現状と取り組みを説明し、へき地での医師確保の苦悩を伝えました。また吉田、佐藤両医師からは、当院に勤務を決めた経緯と現在の仕事のやり甲斐を発表しました。



《院内感染対策委員会》 嘔吐物の処理方法の実演講習！



嘔吐物処理セット

嘔吐物を素早く処理ができるように『汚物処理セット』を作成し、院内の2階・3階・透析室・外来・医事課・リハビリ室・保育室へ設置しています。

ノロウィルスなどの感染力の強い菌は、処理方法が重要です。看護師だけでなく病院職員全員で勉強しました。

「豆腐」を「嘔吐物」として、口の高さから落とし、飛び散る様子も観察しました。思った以上に飛び散ることが分かりました。

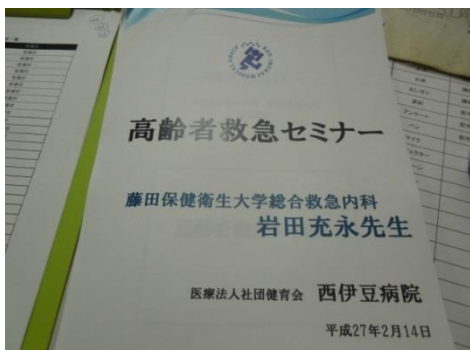
ガウンやマスク・手袋・足袋、新聞紙やごみ袋など、その場で集めるのは大変です！
この「汚物処理セット」に全て入っています。写真を使った処理手順も付いているので、安心です！



藤田保健衛生大学総合救急内科教授 岩田充永先生の講演会

テーマ『高齢者救急セミナー』

参加者は、近隣の病院・施設の看護師、介護に携わっている方、役場の福祉に携わる方を対象に、約60名の方に参加して頂きました。



岩田先生は、名古屋市立大学医学部卒業後、救急、麻酔、内科、を研修後に、名古屋掖済会病院救命救急センター勤務。

2012年10月より藤田保健医療衛生大学に着任。2014年4月より総合救急内科教授に就任。

先生の著書の一つに「高齢者救急」などがあります。その一節です。『高齢者救急も、患者さんやご家族の幸福につながるためには、看護師、介護福祉士、薬剤師、医師など多くの職種の“アンサンブル”がとても重要である』と説き、高齢者救急の第一人者である先生をお招きしました。

高齢者の救急の特徴として、「何だか熱っぽいんです・・・」「転びました」「呼びかけに反応がないんです・・・」「元気がないんです・・・」「食事の摂取が悪いんです・・・」といった理由で救急受診される。“あいまい”さこそ高齢者救急の本質。“あいまい”な訴えから手がかりをつかむために重要な2点。

①バイタルサイン評価に強くなること

②病歴の情報聴取を詳細におこなうこと

①については、呼吸数は数えてマネしてみることや、頻拍や呼吸数増加を伴う発熱は重症の可能性があるので、具体的な評価方法を説き。

②については、「食事、トイレ、着替え、内服」の質問でADLをく推定し、「いつから何ができなくなったのか、いつから症状が出たのか」をはっきり聴取することがポイントであると教えて頂きました。



《講演後のアンケートより》

- 参加者：西伊豆町・松崎町53% 下田市13% 伊豆市5% 他、東伊豆町・南伊豆町・河津町・伊東市
- 職種：看護師52% 介護士22% ケアマネ7% 相談員2% 他、医師・臨床工学技士、保健師、社会福祉士
- 講演会の内容：理解できた81% やや理解できた17%
- 説明の仕方：分かりやすかった96% まあまあ分かりやすかった4%
- 満足度：満足80% ほぼ満足20%

個別のコメントから、「実例を入れての講義だったのでイメージが付き実際の職場で困っていることに直結していた。」など好評をたくさん頂いたことから、この地域のニーズにマッチした講演会となりました。

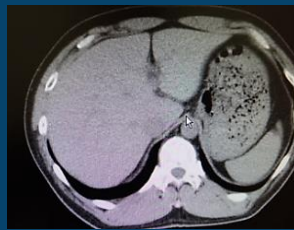
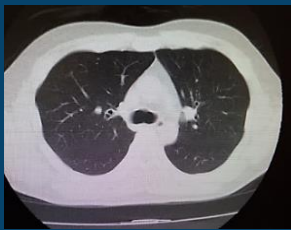
今後も、こういった講演会を企画し地域の皆さまと共に勉強していきたいと考えています。

肺ドック

肺ドックは喫煙愛好家の方に特にお勧めします。

- ◆喫煙習慣のある方 ◆肺がんの家族歴のある方
- ◆咳や痰の多い方 ◆労作時に息苦しさを自覚する方

肺がんの最も大きな危険因子は喫煙です。



CT検査は短時間で肺の断層写真を撮影する検査です。
単純X線写真では、心臓や横隔膜に重なってわかりにくい小さな病変も見つけることができます。

●肺ドックで見つかる病気●

肺がん、結核、COPD(慢性閉塞性肺疾患)
間質性肺炎、肺気腫
肺線維症、気管支拡張症
気管支喘息
その他呼吸器に関する病気

◇検査項目◇

- * CT検査
- * 肺機能検査
- * 腫瘍マーカー 5種

料金 15,000円

※別途オプション検査も追加できます。

完全予約制となります。ご希望の日程など調整させていただきます。
その他ご不明な点がございましたらお問い合わせ下さい。

西伊豆病院 健康管理室

TEL: 0558(52)2366

FAX: 0558(52)6077

問い合わせ時間: 9時～16時

水・土 9時～12時

日・祝は除く





入院について

皆さまに知っておいてほしいこと！

「少し前まであんなに元気だったのに」

病院にかかって入院になったりする方(高齢者がほとんどですが)のご家族からお聞きすることが多い言葉です。「今回入院する前までは何でもできて、歩いて買い物に行ったりゴルフに行ったりしていた。」とか、「〇〇歳になるけれども、年齢よりずっとしっかりしている」などというお話をお聞きすることもあります。入院している状態しかみていないとにわかに信じがたいこともありますが、医療者にとってはとても頻繁に経験すること。

なぜこういうことになるのかというと、一般的に、多くの病気や加齢による自然な変化は内臓や運動器(筋や骨格)の機能を徐々に下げていきますが、からだはそれに対応して心臓、脳、肺、肝臓、腎臓といった内臓、筋や骨格といった運動器の機能を調整することで、からだの働きが低下しないようにしています。たとえるなら電池のはたらきが、残量ぎりぎりまで落ちないけれども、切れるときはぱっと切れてしまうようなことです。



そうすると、病院にくる3日前までは元気だったのに入院したときにはそれらの調整機能が失われて、隠れていた臓器の機能障害や運動器の機能障害が起こります。すると、瞬く間に寝たきりになってしまうということもあります。

だから、入院して治療をはじめたころには別人のように元気がなくなってしまうことが起こるのです。これは不思議なことではなく、とくに高齢者の診療において、私たち医療者が日々実感していることです。さらに、高齢者では、病気の治療では必要なことがあっても、安静にしていることによる運動器もしくは認知機能の機能低下が特におこりやすいということもあります。

何をお伝えしたかったかというと、特に高齢者は、入院をきっかけにして一気に老化が進むことが少なくないということです。私たちの実感では、病気が良くなっても入院前のように動けないとか、認知機能が低下することが珍しくありません。これが通常の老化というものであり、こうしたことであちこちの問題が明らかになってくるのです。



病気やけがをして病院にかかるみなさんは、それらが治れば元通りの元気になると思っている方が多いと思いますが、これまで説明したように、高齢者の場合は、なかなか体調を崩す前の状態には戻れないことがあたりまえだということです。それが通常の経過です。何か病気などが判明しても、必ずしも治るとは限らず、徐々に衰えていくことの方が普通だということです。

受診されたご本人やそのご家族とお話をしていて、いつも感じていたことをお伝えいたしました。





ごぼうと牛肉のトロみすき煮(2人分)

ごぼう・・・2本 250g

牛肩ロース薄切り肉・・・150g

小麦粉・・・大さじ1

小ネギ・・・50g

A しょう油・砂糖・・・各大さじ2

水・・・1カップ

しょうがの千切り・・・1かけ分

食物繊維
8.0g

①ごぼうはたわしでこすって泥をよく洗い落とす。5mm厚さの長めの斜め切りにし、さらに幅を3等分に切る。熱湯で1分ほど下ゆでし、ざるにあける。

②小ネギは5～6cm長さに切る。

③直径約20cmの鍋に①とAを入れて中火で煮立てる。アクを除き、上下を返してふたをし、弱火で10分煮る。

④ごぼうを片側に寄せ、牛肉に小麦粉をまぶして広げ入れる。しょうがを加えてふたをし、中火で1～2分煮る。アクを除き、上下を返してさらに1～2分煮る。

⑤ふたをとり、②を加えてひと煮し、火を消す。



野菜の中でも、特に食物繊維が多い「ごぼう」
牛肉のうま味がごぼうにしみた甘辛味は、ごはんのおかずにはぴったりです。



ごぼうの繊維を多方向から断ち切ることで噛みやすくなって、たっぷり食べられる。

表面積が広いほうが味が入りやすく調理時間も早い。



牛肉は加熱するとかたくなりやすい。小麦粉をまぶして煮ることで、しっとりとして噛みやすく、ほどよいトロみがついて食べやすくなる。

月に2回イベント食を行っています！

地元の食材を使用し、入院患者さんに季節を感じて頂くようイベント食を行っています。

平成26年8月23日 処暑



平成26年9月15日 敬老の日



平成27年1月12日 成人の日





高額療養費制度が平成27年1月から変わりました！

高額療養費の自己負担限度額について、負担能力に応じた負担を求める観点から、**平成27年1月診療分より**、70歳未満の所得区分が3区分から5区分に細分化されました。

高額療養費とは？：高額療養費とは、同一月（1日から月末まで）にかかった医療費の自己負担額が高額になった場合、一定の金額（自己負担限度額）を超えた分が、あとで払い戻される制度です。



自己負担限度額とは？：高額療養費の自己負担額は年齢及び所得状況により設定されています。

高額な医療費を支払ったときは高額療養費で払い戻しが受けられます！

70歳未満の方で、医療費が高額になることが事前にわかっている場合には、**「限度額適用認定証」**の申請を事前に行い、受診するときに保険証と併せて提示します。窓口での支払いが自己負担限度額までで済みます。

【平成26年12月まで】

被保険者所得区分 「限度額適応認定書」の所得区分		自己負担限度額	※ 多数該当
①区分A	標準報酬月額53万円以上の方	150,000円+(総医療費-500,000円)×1%	83,400円
②区分B	区分Aおよび区分C以外の方	80,100円+(総医療費-267,000円)×1%	44,400円
③区分C	被保険者が町民税の非課税者等	35,400円	24,600円



【平成27年1月から】

被保険者所得区分 「限度額適応認定書」の所得区分		自己負担限度額	※ 多数該当
①区分ア	標準報酬月額83万円以上の方	252,600円+(総医療費-842,000円)×1%	140,100円
②区分イ	標準報酬月額53万～79万円の方	167,400円+(総医療費-558,000円)×1%	93,000円
③区分ウ	標準報酬月額28万～50万円の方	80,100円+(総医療費-267,000円)×1%	44,400円
④区分エ	標準報酬月額26万円以下の方	57,600円	44,400円
⑤区分オ	被保険者が町民税の非課税者等	35,400円	24,600円

【限度額適応認定書の利用に関して】

- ・入院と外来は別々に計算されます
- ・入院時の差額ベッド料金や食事費は含まれません
- ・複数の病院、診療所で受診した場合別々の計算となります
- ・月ごとに計算されます

※多数該当とは

1年間に3回以上利用されている場合は4回目からは自己負担限度額が軽減されます
4回目以降の自己負担限度額です

【 関連施設 ～健育会グループ～ 】



熱川温泉病院



お問い合わせは TEL 0557-23-0843

自然環境と人間性の融合。質の高いリハビリテーションと確かな医療を提供する新時代のリゾート・リハビリテーション・ホスピタル。

豊かな自然に恵まれたリゾート環境で、良質な温泉を活かした施設と充実したアメニティを備えリハビリテーションを中心にした新しい考え方の病院です。最高の環境でじっくりとリハビリテーションに専念したいというニーズに応える為、あらゆる職種が協同し徹底したチーム医療を実践しています。



土肥クリニック



お問い合わせは TEL 0558-99-1234

地域で開業されている先生方と連携して地域医療の質の向上に努めています。

西伊豆病院の医師も土肥クリニックで外来診療を行なっております。西伊豆病院 院長「仲田」は火曜日・午後外来を担当し、泌尿器科医師「吉田」は水曜日・午後外来を担当しています。



介護老人保健施設 しおさい 入所のご相談は TEL 52-3000 (入所担当まで)



地域の要介護高齢者の一日も早い家庭復帰と社会復帰を支援する施設です。在宅復帰へ向けたネットワークを構築し、最適の療養環境で最善のケア・リハビリテーションを提供。利用者の方々が心身ともにリフレッシュでき、楽しく有意義な生活が送れるようご支援します。

施設内行事も充実しており、毎月の「お誕生会」に、季節の行事も毎月企画しています。四季折々の行事を行うことで利用者さまと共に季節を感じることが出来ます。



ゆうあい訪問看護ステーション お気軽にお電話下さい TEL 52-5111

訪問看護は、病気や障害をお持ちの方や高齢者が住み慣れた家で、安心して療養生活を送れるように支援する看護サービスです。看護行為は主治医の治療方針に沿って行われます。また、介護されているご家族に、さまざまな面からアドバイスや支援もいたしますので、安心してご利用いただいています。



居宅介護支援 (ゆうあい訪問看護ステーション) お問い合わせは TEL 52-0555

介護に関わるご相談、介護認定申請手続きの代行、ケアプランの作成、介護サービスを提供する事業所との連絡調整、施設の紹介等、介護保険に関わる全てを承ります。介護の必要な方やご家族のご要望を尊重し心身の状況や環境等を十分考慮して可能な限り、望まれる日常生活を営むことができますよう適正な居宅介護支援を提供いたします。お気軽にご相談下さい。

掲載内容のマーク



医療情報

栄養関連

救急関連

ご案内

『 お元気ですか 第66号 』

平成27年3月 発行

発行

医療法人社団健育会 西伊豆病院 医療連携室

ホームページ

〒410-3514 静岡県賀茂郡西伊豆町仁科138-2

TEL 0558-52-2626

<http://www.nishiizu.gr.jp/index2.html>

